

●福祉保健医療委員会 副委員長  
●人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 委員

埼玉県議会議員

西五区  
(ふじみ野市・三芳町)

わた なべ だい

# 渡辺 大

手洗い・マスク  
3密を避けて！  
みんなで乗り越えましょう！



ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に!!!

今年に入り、新型コロナウイルスの蔓延のみならず、ロシアによるウクライナの侵略、3/16に発生した福島県沖を震源とする地震、それにともなう電力需給逼迫、など我々の社会のあり方などを考え直す契機となるような事件が多く発生しました。

安心して生活を送っていくために何が必要なのか、平和な社会を維持していくためには、どういう取り組みが必要なのかを念頭に議員活動を行っていききたいと思います。

今回の2月県議会では、令和4年度予算の審議とともに一般質問も行いました。多くの市民・町民の方から受けた相談事、要望を解消、実現するべく県政に提言していきます。

埼玉県議会議員 渡辺 大

## NEW 埼玉県新型コロナ後遺症外来について

新型コロナの後遺症が疑われる症状をお持ちの方は以下の医療機関で受診が可能です。

### ■上福岡総合病院

住所：ふじみ野市福岡 931  
備考：要紹介・要予約 (049-266-0111)

### ■竹下内科

住所：ふじみ野市新田 1-1-27  
備考：予約不要

### ■ふじみ野整形外科内科

骨粗鬆症スポーツクリニック  
住所：ふじみ野市大井武蔵野 1437-7  
備考：予約不要

### ■みずほ台サングリニック

住所：富士見市西みずほ台 1-1-1  
備考：予約不要

詳細はこちら

(埼玉県HP)



受診までの流れを解説しています。

県議会

## 「計画的な休憩」導入について

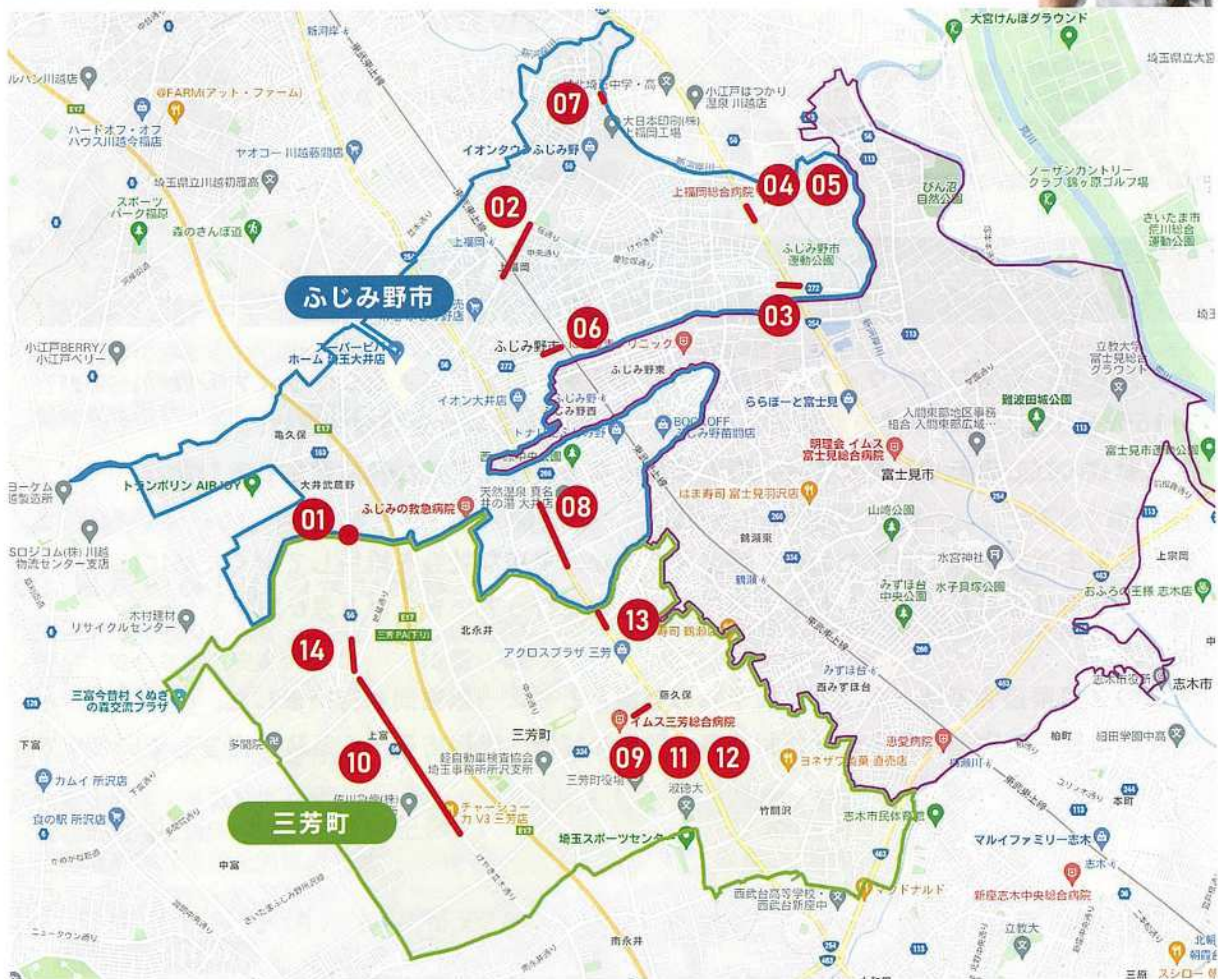
県議会では本会議や委員会での審議において「計画的な休憩」を導入しました。おおむね60分を目途に、10分以上の休憩を取ることとします。これは傍聴の皆さまや、議員、記者、職員などの月経や障害など個々の事情に配慮し、全ての方が安心して会議に参加できる県議会とするための取り組みです。



# ふじみ野市・三芳町を元気にする活動

かねてより地元・県民の皆様方よりご要望を受けていた  
以下の箇所の予算取りが叶いました！

どんな小さな事でも  
皆様の声やご要望を  
お聞かせください！



## 令和4年度当初分（ふじみ野市・三芳町） / 令和3年2月補正分（三芳町）

	番号	事業内容	路線名等
ふじみ野市	01	交差点整備	さいたまふじみ野所沢線（大井武蔵野）
	02	交通安全施設整備事業	さいたまふじみ野所沢線（上福岡）
	03	橋りょう修繕	東大久保ふじみ野線（鷲ノ森高架橋）
	04,05	橋りょう修繕	国道254号（福岡高架橋）
	06	舗装道整備	東大久保ふじみ野線（丸山）
	07	河川改修	新河岸川
	08	舗装道整備	国道254号（大井）
	三芳町	09	交通安全対策
10		交通安全対策	さいたまふじみ野所沢線
11		自転車歩行者道整備	三芳富士見線（藤久保）
12		交通安全対策	三芳富士見線（藤久保）
13		舗装道整備	国道254号（北永井）
14		舗装道整備	さいたまふじみ野所沢線（上富）

県議会2月定例会（3月1日・於：本会議場）において一般質問に登壇し、以下の議題について質問・提言をさせていただきました。本号ではその中から抜粋して概要をお伝えします。



1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. ふじみ野市の立てこもり事件を踏まえて
3. ナッジ理論・行動経済学の導入について
4. 県庁のハラスメント対策について
5. デジタル人材の確保・充実について
6. 予防医療に対するフォーカスを～医療費の削減のために～
7. 自動運転時代を見据えた道路行政について
8. グローバル人材の支援について
9. ユマニチュードの活用、浸透について
10. 地元問題

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策について

### 01 陽性者、濃厚接触者の隔離解除についての県内事業者への周知

厚労省の発表に従えば、隔離期間が経過すれば、陰性証明がなくとも  
出社、登校が可能であるにも関わらず、事業者によっては、出社にあたってPCR検査での陰性証明を要求してくるという事態が発生しています。  
県としてのさらなる対策を求めました。



### 02 医療事務員の扶養控除の特例に関する対応について

ワクチン接種では、受付、接種後の事務手続きなど医療事務の方々の  
協力が欠かせません。  
医療事務の方々は、パートなどで年収130万円の配偶者の扶養の範囲  
内に収まるよう調整して働いているケースが多いが、超過勤務が続き、  
この範囲を越えてしまうことに対する対応を求めました。



### 03 小学校休業等対応助成金について

学級閉鎖などで通学等ができず、子どもの世話を保護者がしなければ  
ならず出社できない場合に、有給休暇を取得させた事業者を支援する  
制度だが、会社が認めないというケースがあるため、県としての対応  
を求めました。



### 04 保健所への応援職員の待遇について

埼玉県庁は、水曜日がノー残業だが、コロナ対応では、5時すぎに病院からの  
感染情報が入ることも多く、これに対応して職員に対しては、残業として  
適正に対応するべきとして対応を求めました。



# 令和4年度当初予算案の概要

一般会計：2兆2,284億5,900万円  
(全会計合計3兆6,455億5,300万円)

## ☑ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止

検査・医療提供体制等の確保	1,389億3,700万円
フォローアップ体制や軽症者等の療養体制の確保	310億700万円
ワクチン接種の推進	99億7,000万円
感染症専門人材の育成	3,100万円
救急・周産期医療への助成	6億8,000万円
福祉施設における感染拡大防止対策	15億1,300万円
飲食店等での感染防止対策	4億9,900万円



## ☑ 社会全体のDXの推進

中小企業におけるDXの推進	3億8,700万円
行政手続のオンライン化の推進	1億8,800万円
公金収納のキャッシュレス化の推進	1億9,500万円



## ☑ ウィズコロナ下での経済回復・成長

エッセンシャルワーカーの処遇改善 135億5,600万円

## ☑ 災害・危機に強い埼玉の構築

防災関連公共事業の推進 181億9,500万円

## ☑ 県民の暮らしの安心確保

交通安全対策の推進	1億4,700万円
安全・安心な水の安定供給	16億9,400万円
生活の安心支援	3,100万円

## ☑ 介護・医療体制の充実

人材の確保・定着対策の推進 5億4,700万円  
地域医療体制の充実 5,200万円

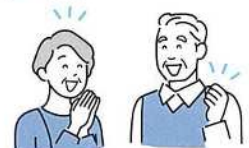
## ☑ 子育てに希望が持てる社会の実現

結婚・出産・子育てに前向きなマインドづくり	2,000万円
児童虐待防止対策の強化	2,200万円
きめ細やかな少子化対策の推進	1億6,100万円



## ☑ 未来を創る子供たちの育成 / 人生100年を見据えたシニア活躍の推進

多様なニーズに対応した教育の推進	48億9,500万円
高齢者の活躍支援	3,900万円



## ☑ 誰もが活躍し共に生きる社会の実現

女性の活躍推進	4,400万円
障害者の自立・生活支援	3,100万円
LGBTQへの支援	2,400万円

## ☑ 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

多文化共生の推進	1,100万円
文化芸術の振興	1,000万円
スポーツの振興	5,400万円

## ☑ 豊かな自然と共生する社会の実現

豊かな水とみどりを守り育む 2億2,200万円

## ☑ 儲かる農林業の推進

狭山茶生産におけるDXの推進 1,000万円

発行  
埼玉県議会自由民主党議員団

埼玉県議会議員

渡辺 大 県政事務所

県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

〒356-0035 ふじみ野市丸山2-18-102  
TEL : 049-265-6250 FAX : 049-265-6251  
E-mail : office.daiwatanabe@gmail.com



● 県土都市整備委員会 委員 ● 経済・雇用対策特別委員会 委員  
● 図書室委員会 委員

埼玉県議会議員

西五区  
(ふじみ野市・三芳町)

わた なべ だい

# 渡辺 大

手洗い・マスク  
3密を避けて！  
みんなで乗り越えましょう！



ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に!!!

6月議会では、性の多様性を尊重する社会づくり条例を制定しました。  
この条例は、私が事務局長として制定に携わり、提案代表者となる機会をいただきました。  
人は、ひとりひとり、ありのままで価値があります。  
差別に苦しみ、人間としての尊厳が傷付けられ、暴力の恐怖に苛まれ、生存を脅かされてきた方々に、  
明るい未来が開けるかもしれないというメッセージが伝わり、希望を感じてもらいたいと思っています。  
本条例が、この世に絶望し、生きることを諦めたりする人が無くなるきっかけとなることを願っています。

LGBTQ\*であることは、選択するものではありません。  
目の色、肌の色などと同様に自ら選択しているものではないのです。  
困っている人、苦しんでいる人がいれば、寄り添い、力になる議員でありたいと思います。  
これからもご支援、ご指導をよろしくお願いいたします！

※LGBTQ (レズ、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニング)

埼玉県議会議員 渡辺 大

「旅して！埼玉割」観光応援キャンペーン  
埼玉県民及び隣接県民限定

埼玉県民及び茨城・栃木・群馬・千葉・神奈川・山梨・長野県民の埼玉県内の  
宿泊及び日帰り旅行に対し割引支援と地域観光クーポンを付与いたします。

割引金額  
50%off または 最大5,000円

地域観光クーポン  
2,000円

～8月31日



詳細は宿泊先などにお問い合わせ下さい。  
※ワクチン3回接種済みなどの要件あり。

埼玉県観光  
応援キャンペーン

埼玉県観光  
応援キャンペーン

## ふじみ野市・三芳町を元気にする活動

地元・県民の皆様方の「暮らしやすさ」実現のため、  
様々な活動を日々、精力的に行っています！

どんな小さな事でも  
皆様の声やご要望を  
お聞かせください！



## 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例

埼玉県では、全ての県民が互いの人権を尊重しながら共に生きる社会の実現を目指して取り組んでいます。LGBTQ※(性的マイノリティ)の方の多くは、周囲からの差別や偏見を恐れ、当事者であることを隠し生活されており、見えないマイノリティと言われていました。これまで長い間支援から取り残されてきており、多様性が尊重される時代において、直ちに対応すべき人権問題です。このたび、埼玉県議会令和4年6月定例会において「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が成立し、令和4年7月8日から施行されました。



不当な差別的取扱い  
の禁止



性的指向・性自認の表明を  
強制又は禁止してはならない



不当なアウティング※  
の禁止

※アウティング：性的指向又は性自認に関して本人の意に反して本人が秘密にしていることを明かすこと。



渡辺 大 自民党埼玉県議会議員 条例骨子案まとめた[LGBTQ理解増進PT]事務局長

理解への課題「トランス女性、性自認どう線引き」 ABEMA NEWS/



ABEMA NEWSに出演しました！  
(QRより放送をご覧いただけます)



この条例には、私が事務局長として制定に携わり、提案代表者となる機会をいただき、5月にはインターネットテレビ番組「AMEBA NEWS」に出演し、条例の理念や概要など多くの点についてお話をさせていただきました。今後も全ての人の人権が尊重される社会の実現に向け様々な取り組みを進めていきたいと思っております。

※埼玉県では、「LGBTQ」を性的マイノリティを表す総称として表記しています。

Q&A

### よくある質問

質問①

男性の外見の人が心が女性だとして、女湯、女性トイレに入るのを拒めなくなるのでは？

回答

男性の外見の人が心が女性であると言って、女湯、女性トイレに入りたいと主張しても外見が男性の方の入場は、断れます。断っても不当な差別には、当たりません。

質問②

自認の性を認める制度を悪用した性犯罪が増えるのではないかな？

回答

同様の制度を導入しているアメリカにおいて、カリフォルニア大学ロサンゼルス校による大規模な統計的調査が行われましたが、性犯罪は、増加しないという研究結果が出ています。また日本国内でも同様の制度の導入後に、性犯罪が増加したという例はありません。

# 渡辺大の活動報告

## 18歳成人についての講演

18歳成人になってできること、リスクなどをお話し、生徒さんたちが不安に思っていることなどを聞きました。



## 三重県担当者との政策意見交換

他県の政策を調査するのもzoomで聞けるので、とてもスピーディーで楽です。

## ふじみ野市にも拉致被害者がおられます。

ある日突然、家族を、人生を奪い去る拉致は絶対に許されません。

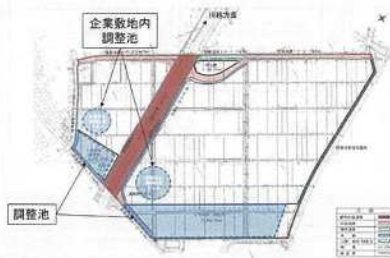


## 福岡中央公園での美化活動

ふじみ野市の福岡中央公園を愛し育てる会の会員でもあり、すてきな街には、すてきな公園が必要です。

## お知らせ

### 国道254号バイパス・調整池について



埼玉県条例に基づく容量 76485 m<sup>3</sup>  
本土地区画整理整備容量 98802 m<sup>3</sup>

法令で要求される容量より  
30%程度も多い治水機能を計画しています。

### 新河岸川・渋井水門の増設について



新河岸川本川と新河岸川放水路の分派点において、河川流量を調整する施設である水門を増設することで、新河岸川本川からの受け入れ可能な流量を増加させます。

次回  
一般質問予定

【10/3（月）15:00～】 @埼玉県議会議事堂  
※後日テレビ埼玉でもご覧になれます。



# 原油価格・物価高騰に対する経済支援

一般会計補正予算 **27億5,000万円**

県議会6月定例会は6月17日から7月7日にかけて開催され、一般会計補正予算（第1号・第2号）あわせて27億4,975万1千円を議決しました。補正予算の主な内容は、ウクライナ情勢や円安の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、県として緊急に対すべき事業として「生活者への支援（5億495万6千円）と「事業者に対する支援（9億6,932万9千円）」が大きな柱となっています。

また、当面緊急に対すべき事業に加え、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資を促進するための予算（11億3,056万6千円）が盛り込まれました。

## ☑ 原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援

学校給食等の物価高騰に直面する保護者等への支援	9,400万円
夏休み期間の子供の食事等を確保するための支援	8,100万円
県内地域公共交通事業者への支援	4億2,900万円
県内観光関連事業者（貸切バス・旅行事業者）への支援	2億9,300万円
県内中小企業等への資金繰りへの支援	7,000万円
県内畜産農家への支援	1億700万円



### 原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援

学校給食等の物価高騰に直面する保護者等への支援 9,406万5千円	夏休み期間の子供の食事等を確保するための支援 8,137万3千円
<p><b>概要</b> 学校給食等の食材価格高騰に直面する保護者等の負担増加の回避のため、当面の間、<b>食材価格高騰相当額を補助</b>する。</p> <p><b>対象校</b> 県内で学校給食等を実施している以下の学校                  &gt; 県立の中学校・夜間定時制高校・特別支援学校                  &gt; 私立の小学校・中学校・特別支援学校</p> <p><b>補助内容</b> 学校給食等の食材価格高騰相当額を学校に対し補助（15%を目安）                  &lt;各校の給食費計&gt;                  県からの補助 ⇒ <b>価格高騰相当分(45円)</b>                  (例)一食あたり 300円→345円に高騰した場合                  保護者負担額(変更なし)      保護者負担(300円)      各業者へ支払い</p>	<p><b>概要</b> 子供の居場所等の活動支援を通じて、夏休み期間に限り、子供の食事等を確保するため、<b>食品や学用品を子供に提供</b>する。</p> <p><b>内容</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>提供品を用意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品 レトルトカレー パックご飯 など</li> <li>学用品 ノート など</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>子供の居場所等へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提供品を利用して子供とのつながりを継続</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>子供たちの手元へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事機会の増</li> <li>子供の見守り機会の増</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">子ども食堂    フードバンク    学習教室</p> <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; padding: 5px;"><b>県内企業と協力・連携</b></p>

## ☑ 脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進

県内中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援	4億700万円
住宅の省エネ・再エネ設備投資への支援	2億9,400万円
県内施設園芸農家の省エネ転換への支援	4億3,000万円



■発行  
埼玉県議会自由民主党議員団  
埼玉県議会議員

**渡辺 大** 県政事務所

県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

<https://www.facebook.com/iad.ebanataw>

42414311

[https://twitter.com/dai\\_wata\\_nabe](https://twitter.com/dai_wata_nabe)

「渡辺大チャンネル」で検索



〒356-0035 ふじみ野市丸山 2-18-102 TEL: 049-265-6250 FAX: 049-265-6251 E-mail: office.daiwatanabe@gmail.com



●県土都市整備委員会 委員 ●経済・雇用対策特別委員会 委員  
●図書室委員会 委員

埼玉県議会議員

西五区  
(ふじみ野市・三芳町)

わた なべ だい

# 渡辺 大

手洗い・マスク  
3密を避けて！  
みんなで乗り越えましょう！



ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に!!!

9月議会では、4度目の一般質問を行う機会をいただきました。  
13項目と多岐にわたり提言しましたが、皆さまから寄せられた声、要望を多く反映しております。  
皆さまから声、要望をいただくことで、悩み、困難を改善できるよう取り組みますし、そのテーマについて勉強することで、私の議員としての力も付いていきます。  
皆さまが直面する課題や困難をぜひ私にお寄せください！

これからも皆さんの暮らしをより良いものにできるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

埼玉県議会議員 渡辺 大

## 【重要】県政事務所移転のお知らせ

2022年9月をもちまして県政事務所を移転することとなりました。  
つきましては、以下の通り新住所をご案内させていただきますので、ご来所の際はご注意ください。尚、電話番号・FAX番号には変更がございません。

### 新事務所



〒356-0035  
ふじみ野市丸山 **7-1-102**

TEL : 049-265-6250  
FAX : 049-265-6251

(TEL/FAX番号の変更はございません)



# 一般質問報告

埼玉県議会  
9月定例会

皆様の声を県政に！

県議会9月定例会（10月3日・於：本会議場）において一般質問に登壇し、以下の議題について質問・提言をさせていただきました。本号ではその中から抜粋して概要をお伝えします。

## < 発言内容 >

1. 保健所の体制整備、過剰に負荷がかかる人員からの業務の引き剥がしについて
2. 在宅医療の医師が射殺された事件を踏まえて、在宅医療、在宅介護の安全のために
3. 性の多様性を尊重した社会づくりに関する今後の取組について
4. 埼玉県職員の人事制度の改善について
5. 街路樹の維持管理について
6. 不登校児童生徒に対する支援について
7. 教職員の過酷な勤務実態の改善について
8. 面会交流について
9. 県営住宅の入居について
10. 買い物サポート（移動販売など）について
11. 指定難病患者の申請手続の簡素化について
12. 補装具費支給制度について
13. 地元問題



## 01 保健所の体制整備、 過剰に負荷がかかる人員からの業務の引き剥がしについて

Q. 保健所職員の中には、時間外労働が月平均80時間を超える者もあり、中でも陽性者の入院調整業務が大きな負担となっている。同業務の外部委託について知事に所見を問う。

A. 他の保健所業務については、外部委託を行ってきているが、入院調整業務の外部委託は、性質上難しいと考える。ただ、各保健所で夜間業務について協力体制を作れないか調整するなど更に工夫できないか対策を立てる。



## 02 ふじみ野市散弾銃男立てこもり事件を踏まえ、 在宅医療・在宅介護の安全のために

Q. 8割以上の職員さんがハラスメントの経験があり、中には、抱きつかれる、キスされる、迫られる、下着の中まで手を入れられる、隠しカメラを設置されるなどまであった。今すぐ来てくれ、と呼び出され、2~3時間も小言を言われるというようなケースもあるとのこと。在宅医療、在宅介護の従事者は、大変危険な状況にある。利用者のリテラシーの向上が重要と考えるが、県の取り組みを知事に伺う。

A. 事件発生現場であるふじみ野市や東入間医師会などと意見交換を行い、在宅医療・在宅介護従事者が安心して働ける体制を検討してきた。

その上で、複数人訪問の費用補助、専用相談窓口、安全確保対策のための費用補助、暴力・ハラスメント対策研修などの予算を組んだ。

リテラシー向上については、議員ご指摘の通り必要不可欠と考える。

ポスター、リーフレット、SNSなどを通じて啓発に取り組む。

## 03 不登校児童生徒に対する支援について

- Q. 不登校特例校を全県的に拡げて行くべきと考えるが、対応できていない現状に鑑みれば、そこを補完するフリースクールの役割は、公的であり、重要である。  
フリースクールは、経済的に通学可能な児童生徒に限られる要素があることから、フリースクールに通いたいと考える生徒への助成等が必要と考える。教育長の所見を問う。



- A. フリースクールの実態について情報収集し、不登校児童生徒に対する支援を検討する。

## 04 教職員の過酷な勤務実態の改善について

- Q. 小中学校教員の平均残業時間は、1ヶ月平均105時間。先生方を守るために、業務量の削減が不可欠であり、そのための「仕組み」を用意することが教育委員会の使命であると考え。教育長の所見を問う。
- A. 今まで当たり前に行われていた業務についても積極的に見直し、業務改善、業務削減を強力に推進する。

## 05 地元問題

- Q. 国道254号亀久保交差点から関越自動車道に向ってのくら寿司前交差点、旧りそな銀行大井支店前交差点は、大型車が通行する箇所にもかかわらず道路幅が狭く危険性が高い箇所である。また右折レーンもないため渋滞の温床ともなっている。道路拡幅についての所見を。
- A. 亀久保交差点から三角交差点までの約1.4km区間では、約0.7km区間で拡幅整備が完了しており、残る区間は、現在整備中箇所の進捗状況等を勘案しながら検討する。
- Q. 国道254号藤久保交差点から三芳中学校前交差点までの歩道の未整備箇所及び三芳小学校前交差点の改良について伺う。
- A. 令和3年度から歩道整備に着手しており、現在、測量や道路設計を実施している。道路設計が完了次第、地元説明や用地測量を進めていく。
- Q. 三芳中学校前交差点や三芳中学校前交差点の右折帯整備が必要と考えるが所見を問う。
- A. 三芳中学校前交差点では、交差点の右折帯の設置とあわせて、前後400メートル区間で歩道整備を進めている。  
現在の用地買収率は68%、工事進捗率は75%となっており、これまでに、交差点東側の右折帯と歩道が整備されている。  
地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら、引き続き、交差点西側の残る用地の取得を進めていく。



# 令和4年度補正予算（第4号）

一般会計：1,765億1,200万円（累計2兆4,085億9,500万円）

## 福祉施設等の運営継続に対する支援

21億8,972万8千円

### 概要

光熱費等の激変を緩和し、福祉施設等の運営継続を支援するため、緊急的措置として施設等設置者に対し補助

### 補助内容（主なもの）

- > 高齢者施設(入所): 12,000円/定員1人 > 私立高校: 1,300円/生徒1人
  - > 障害者施設(入所): 9,000円/定員1人 > 保育所等: 1,700円/定員1人
- (市町村との協同補助 限1/2、市町村1/2)

## トラック運送事業者の経営改善に対する支援

35億3,534万7千円

### (1)緊急支援

燃料価格の激変を緩和するため、緊急的措置として県内の運送事業者に対し補助

- > 補助額: 貨物自動車: 30,000円/台 貨物軽自動車: 10,000円/台

### (2)価格交渉力強化の促進

トラック運送事業者の円滑な価格転嫁を促進するため、「標準的な運賃制度」導入に向けた啓発や荷主に対する広報を実施



## 生活福祉資金特例貸付の借受人の相談体制の拡充

13億5,099万1千円

### 概要

特例貸付の借受人の債務整理や生活再建に向けたきめ細かな支援を実施するため、社会福祉協議会に対し補助

### 内容

- > 県社協: コールセンターの人員の増員
- > 市町村社協: 弁護士やファイナンシャルプランナーなど専門家による相談体制の拡充

## 検査・医療提供体制の確保・強化

1,481億3,573万7千円

### 概要

引き続き県民相談や検査・医療提供体制、感染者のフォローアップ体制を確保するとともに、自宅療養体制を強化する

- > 令和5年3月末までの検査・医療提供体制等を確保
- > 第7波以上の感染拡大発生時にも対応が可能な体制を構築

### 主なポイント

- > 自宅療養者の健康観察体制の強化 【拡充】
  - ① 自宅療養者支援センター(3か所)の体制拡充
  - ② 協力医療機関による健康観察の拡充

⇒ 第7波での最大療養体制である98,500人以上の健康観察ができる体制へ
- > 入院医療機関の病床確保等への支援 【継続】
  - ① 病床確保のために生じる空床や休止病床に対する補助
  - ② 入院患者受入協力金や医療従事者手当支援を補助
- > 軽症者等のための宿泊療養施設の確保・運営 【継続】

## 農業者の経営継続に対する支援

10億8,859万4千円

### 概要

生産コストの激変を緩和し、経営継続を支援するため、緊急的措置として酪農家や採卵鶏農家等に対し補助

### 補助内容（主なもの）

- > 酪農: 輸入粗飼料の費用の一部 14,500円以内/成牛1頭
- > 採卵鶏: (標準的生産費 - 各農家の販売額) × 90%以内



## 観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援

6億505万5千円

### 概要

観光関連事業者を支援するため、本県への宿泊旅行者に対し地域観光クーポン券を配布

COUPON 1人1泊 3,000円 (16万人分)

- > 対象者: 県内及び全国からの宿泊旅行者
- > 事業期間: 令和4年11月中旬から令和5年2月28日まで



## 化学肥料の使用量低減に向けた支援

2億5,057万7千円

### 概要

化学肥料使用量を低減するため、県内農業者に対し補助

### 補助内容

- > 補助対象: 化学肥料使用量を低減するために必要な機械等の導入経費 (例) 局所施肥機、堆肥散布機など
- > 補助率: 1/2



【例:局所施肥機】

## 福祉施設における感染拡大防止対策

63億2,477万5千円

### (1)クラスター発生防止の推進

高齢者・障害者施設における感染拡大防止のため、職員等に対し抗原定性検査キットによる頻回検査を実施

### (2)サービス提供体制の継続確保への支援

引き続き施設でのクラスター発生時等における看護師(リリーフナース)の派遣や、施設内療養費などかかり増し経費を補助



【リリーフナース】(感染管理の研修を受講した看護師)

## ワクチン接種の推進

75億230万8千円

### 概要

オミクロン株に対応した新たなワクチン接種などを安全かつ円滑に推進するため、接種体制等を継続

- > 接種医療機関や職域接種等への支援
- > 埼玉県ワクチン接種センター(4か所)の運営
- > 副反応等の相談窓口の運営、正確な情報の周知



発行  
埼玉県議会自由民主党議員団

埼玉県議会議員

渡辺大 県政事務所

県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

https://www.facebook.com/iad.ebanataw 42414311

https://twitter.com/dai\_wata\_nabe

「渡辺大チャンネル」で検索



〒356-0035 ふじみ野市丸山7-1-102

TEL: 049-265-6250 FAX: 049-265-6251

E-mail: office.daiwatanabe@gmail.com

●県土都市整備委員会 委員 ●図書室委員会 委員 ●経済・雇用対策特別委員会 委員

埼玉県議会議員 西五区 (ふじみ野市・三芳町)

わた なべ だい

# 渡辺 大

ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に!!!



コロナで直接お会いする機会が減りました！

今回は、直接、僕の思いを伝えたい！

皆さんのお声をお聞きしたい！

そんな思いで県政報告会を開催します！

ぜひお誘い合わせの上、お越してください！

埼玉県議会議員 渡辺 大

わた なべ だい

## 渡辺 大 県政報告会

2月18日(土) 15:00~

@ココネサービスセンターホール  
(上福岡駅西口前ヤオコーの上)

みなさまお誘い合わせの上ご参加ください

## 渡辺 大 (わたなべ だい) プロフィール

### 経 歴

1974年6月25日生

●上福岡5小の近くに住む  
ふじま幼稚園

川越市立高階西小学校  
大阪府堺市立上野芝中学校

●ふじみ野に住む  
埼玉県立川越高校

立教大学法学部法学科  
学習院大学大学院法務研究科法務博士号取得  
株式会社カレコミ (インターネットマーケティング)  
営業部部長

ふじみ野市議会議員 副議長等  
埼玉県議会議員

### 家 族

妻(弁護士)・娘(2014年生)・息子(2016年生)  
父:正・母:啓子(2007年他界)  
弟:弾(一中)・丈(三小(イーグルス)・一中)

### 好きな言葉

明日死ぬつもりで生きなさい。 ~マホトマ・  
永遠に生きるつもりで学びなさい。 ガンジー~

### 趣味・その他

読書、野球(高校、大学と野球部でした。)  
ウェイトトレーニング、水泳

### 尊敬する人物

父、母  
(全身全霊を傾けて僕ら兄弟を育ててくれました)

# 活動実績

お寄せ頂いた多くの「ご要望」・「お声」により、多くの施策を実施しています！

## ふじみ野市・三芳町を元気にする活動



01 さぎの森小 渋滞対策



02 東原小周辺交通安全対策



03 上福岡駅踏切通り県道整備



04 丸山集会所交差点信号・県道修繕



05 銀座バーバー前信号機更新



06 渋井水門増設



07 新河岸川護岸・堤防



08 アクロスプラザ前



09 田中青果前信号・横断歩道設置



10 イムス三芳前歩道拡幅



11 三芳中学校前交差点、右折帯整備

### TOPICS

## 数多くの条例の制定を推進・実現しました！

### 議員条例（制定数日本一）で推進！！

- ☑ 全国初「ケアラー支援条例」制定で国の方針をも動かす
- ☑ 虐待のない社会へ！SOS 通報ダイヤル「#7171」設置
- ☑ 単独盗撮・のぞき行為等の規制対象の拡大と罰則強化
- ☑ 「特殊詐欺撲滅条例」制定し対策を強化



### 制定に携わった主な条例

- 埼玉県ケアラー支援条例
- 埼玉県受動喫煙防止条例
- 埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例（単独盗撮・のぞき行為等に対応する）
- 埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例
- 埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 埼玉県ひきこもり支援に関する条例
- 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例
- 埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例
- 埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例（ネットカフェ立てこもり事件を受けて）

## 知事・市長・町長との連携

ふじみ野市・三芳町の地域課題の解決に際して、関係各所との連携を特に重視してきました。市長・町長はもちろんのこと、県全体の改革課題として取り扱い、知事や県職員の方とも緊密な連携を図る事で、多くの政策課題に対応してまいりました。



大野知事

地元の問題から県全体の課題まで、常に大野知事とタッグを組んで取り組んできました！



高畑市長

高畑市長・林町長と緊密な連携を取り、スピーディーな課題解決を推し進めてきました。



林町長

## 令和4年度12月議会の審議内容

### ☑ 県内地域公共交通事業者に対する支援：4億7,200万円

**概要** 県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を引き続き支援するため、**燃料費高騰の影響分を補助（6ヶ月間分）**

**補助対象等** ●補助対象：乗合バス 2,400台・タクシー 5,900台 ●対象期間：令和4年10月から令和5年3月まで

### ☑ 企業の価格転嫁に向けた環境整備：2,500万円

**概要** サプライチェーン全体の共存共栄を図り、県内企業の稼げる力の向上等につなげるため、高騰する原材料費等の適切な価格転嫁を促進

- パートナーシップ構築宣言の促進や実態調査等の実施
- 価格交渉に役立つ情報を提供する支援ツールの作成
- 価格転嫁に関する研修会の開催や広報の実施

### ☑ 県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減：2億700万円

**概要** 農業生産者の支援及び県民の家計負担の軽減を図るため、**県産農産物を使ったキャンペーンを実施する量販店等に対し補助**

- 直売所等での県産米増量キャンペーン：2割増量
- 量販店でのポイントキャンペーン：県産農産物購入者にポイント2割付与

### ☑ 省エネ・再エネ設備導入に向けた県内中小企業等に対する支援：10億3,100万円

**概要** 高騰する光熱費等の影響を緩和し、エネルギー使用量やCO2排出量の削減を加速させるため、**中小企業等の省エネ・再エネ設備の導入費用の一部を補助**

- 補助内容**
- 対象者：中小企業等
  - 補助率：2/3（蓄電池を伴わない太陽光発電設備は1/3）
  - 補助上限額：500万円
  - 補助対象：空調、ボイラー等の高効率化、蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備の導入

### ☑ 医療的ケア児等支援センター開設（R5.1下旬）

### ☑ 4351種の行政手続きのペーパーレス化

### ☑ 特別支援学校の送迎バスに安全設備：5292万円

### ☑ パーキングパーミット条例（検討中）

- 障害者等用の駐車スペースに健常者が停めているため利用できないという事態の解消のために

### ☑ 【介護系職員の処遇改善】（2022年12月1日現在）

- 国の介護報酬上の加算制度の取得率
- |             |        |
|-------------|--------|
| 処遇改善加算      | ：93.9% |
| 特定処遇改善加算    | ：63.3% |
| ベースアップ等支援加算 | ：70.1% |

↓  
各事業所にアドバイザーを派遣し、さらなる加算制度の活用、取得率の向上に努める

■発行  
埼玉県議会自由民主党議員団  
埼玉県議会議員

**渡辺 大** 県政事務所

〒356-0035 ふじみ野市丸山7-1-102

県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

<https://www.facebook.com/iad.ebanataw>

42414311

[https://twitter.com/dai\\_wata\\_nabe](https://twitter.com/dai_wata_nabe)

「渡辺大チャンネル」で検索



TEL: 049-265-6250 FAX: 049-265-6251 E-mail: office.daiwatanabe@gmail.com

●県土都市整備委員会 委員 ●図書室委員会 委員 ●経済・雇用対策特別委員会 委員

埼玉県議会議員 西五区 (ふじみ野市・三芳町)

わた なべ だい

# 渡辺 大



ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に!!!

多くの方からのご支援をいただき県議会に送っていただいてから、早4年です。

多くの方が私に寄せてくれた期待に応えるよう、期待を超えられるよう、

一日一日、一瞬一瞬を大切に精一杯働いて来ました。

多くの要望をいただき、実現できたもの、実現できなかったもの、

引き続き取り組んでいくものなどまだまだ道半ばです。

少しでも皆さんのお役に立てるよう精一杯努力していきます！

埼玉県議会議員 渡辺 大

## 渡辺 大 (わたなべ だい) プロフィール

### 経 歴

1974年6月25日生

●上福岡5小の近くに住む  
ふじま幼稚園

川越市立高階西小学校  
大阪府堺市立上野芝中学校

●ふじみ野に住む  
埼玉県立川越高校  
立教大学法学部法学科  
学習院大学大学院法務研究科法務博士号取得  
株式会社カレコミ (インターネットマーケティング)  
営業部部長

ふじみ野市議会議員 副議長等  
埼玉県議会議員

### 家 族

妻(弁護士)・娘(2014年生)・息子(2016年生)  
父:正・母:啓子(2007年他界)  
弟:弾(一中)・丈(三小(イーグルス)・一中)

### 好きな言葉

明日死ぬつもりで生きなさい。 ~マホトマ・  
永遠に生きるつもりで学びなさい。 ガンジー~

### 趣味・その他

読書、野球(高校、大学と野球部でした。)  
ウェイトトレーニング、水泳

### 尊敬する人物

父、母  
(全身全霊を傾けて僕ら兄弟を育ててくれました)



# ふじみ野市・三芳町の主なインフラ事業

これまでの4年間、そして令和5年度当初予算及び令和4年度補正予算(国補正分)において確保することができた、ふじみ野市・三芳町内の主なインフラ事業箇所です。今後も、皆様から寄せ頂いた多くの「ご要望」・「お声」により、多くの施策を実施して参ります!

どんな小さな事でも  
皆様の声やご要望を  
お聞かせください!



**⑦ 養老橋付近**

●遊歩道整備・新河岸川の川底の浚渫・堤防舗装護岸工事

**B. 渋井水門増設**

**②③ 上福岡駅前周辺**

●上福岡駅前踏切通り県道整備(自転車歩行者道整備等)

**⑨⑪ 狭山ふじみ野線**

●県道163号狭山ふじみ野線 亀久保付近道路整備

**①④⑩ 大井武蔵野**

●大井武蔵野 舗装道整備

**①④ 総合体育館入口交差点整備**

**⑩ 大井武蔵野 舗装道整備**

**D. 東原小周辺交通安全対策**

●三芳中学校前交差点、右折帯整備

**⑬ 三芳中学校前**

●三芳中学校前交差点、右折帯整備

**⑫ 三芳富士見線(藤久保)**

●イムス三芳前歩道拡幅

**⑫ 三芳富士見線(藤久保)**

●イムス三芳前歩道拡幅

**A. 新河岸川**

●新河岸川 堤防舗装・護岸工事

**⑤ 福岡高架橋**

●福岡高架橋 耐震補強工事

**⑥ 駒林付近**

●駒林付近 県道舗装工事

**⑧ 亀久保歩道橋修繕**

●歩道橋塗装・修繕工事

**C. 田中青果前交差点**

●田中青果前信号・横断歩道設置

# 政策提言、条例制定、予算審議を通じて、 ニーズの実現、無駄の節減に努めました！



議員条例（制定数日本一）  
で推進！！

※ダイジェスト版（一部抜粋）にてお伝えします。

- ☑ 全国初「ケアラー支援条例」制定で国の方針をも動かす
- ☑ 虐待のない社会へ！SOS 通報ダイヤル「#7171」設置

- ☑ 性の多様性を尊重した社会づくり条例
- ☑ 卑猥な盗撮・のそき行為等の規制対象の拡大と罰則強化
- ☑ 「特殊詐欺撲滅条例」制定し対策を強化

様々な提言・要請を行ってまいりました！

## ① 職員の処遇改善

1. 介護職員の処遇改善
2. 保育士・幼稚園教諭等の処遇改善

介護職員は、高齢化社会には不可欠で重要なものであり、保育士・幼稚園教諭等も子育て世帯を支える極めて重要な機能を果たしています。両者に対する一層の処遇改善を提言しました。



## ③ ふじみ野市立てこもり事件を踏まえて

1. 訪問医療・介護の提供者の安全をいかに守るか

地域で介護を受けられる環境を作るためには、訪問医療・介護の提供者の安全を守ることが極めて重要であることから提言しました。



2. 銃の管理について

散弾銃所持者に対するチェック体制を適切に実施すべきと提言しました。

## ⑤ 離婚時の養育費の問題

### 離婚時の養育費の取決めの啓発、勧奨について

母子家庭の貧困率は、54.6%（2016年）です。母子家庭の貧困対策、教育対策として重要な意味を有する養育費の適正な支払いを進めるため提言を行いました。

## ⑦ 東武東上線の連続立体交差化について

上福岡駅前踏切周辺の渋滞対策および東上線の人身事故防止のため、連続立体交差化を提言しました。

## ② 豪雨災害に備えた治水対策について



ふじみ野市地域で300件を超える床上・床下浸水が発生した豪雨被害を踏まえ、こうした被害を防止するための一層の治水対策を提言しました。

## ④ 新型コロナ対応をめぐる問題

1. 陽性者、濃厚接触者の隔離解除についての県内事業者への周知

隔離解除後の出社にあたり、陰性証明を要求する事業者が多かった実態を踏まえ、陰性証明が必要ないことの周知を提言しました。

2. 医療事務員の扶養控除の特例に関する対応について

ワクチン接種の関連業務に従事している医療事務員の方が、残業で130万円の壁を超えてしまいかえって負担が増えてしまうことから、改善に向けて提言しました。

## ⑥ 保健所の体制・人員の整備について

### 保健所の体制整備、過剰に負荷がかかる人員からの業務の引き剥がしについて

キャパシティを超える負荷のかかる保健所を健全に機能させるため、保健所勤務の職員の健康を守るため、保健所業務の適正化について提言しました。

## ⑧ 家庭養育の推進について

### 里親等、特別養子縁組制度等の啓発、利用促進

生まれ育った環境により子供の可能性を奪ってはならないとの考えのもと、家庭的環境での養育の推進を提言しました。



97億円の節約！

- 割高なPCR検査費の契約見直しで42億円削減！
- 根拠に基づく政策立案EBPMを提言、県事業の総点検で55億円削減！

発行 埼玉県議会自由民主党議員団  
埼玉県議会議員

県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

# 渡辺 大 県政事務所

Facebook <https://www.facebook.com/iad.ebanataw>

42414311

Twitter [https://twitter.com/dai\\_wata\\_nabe](https://twitter.com/dai_wata_nabe)

「渡辺大チャンネル」で検索



〒356-0035 ふじみ野市丸山 7-1-102

TEL : 049-265-6250 FAX : 049-265-6251

E-mail : office.daiwatanabe@gmail.com

知っとく、なっとく  
**埼玉県政**

埼玉県議会議員 木下博信が、  
県政を身近にわかりやすくお伝えする県政レポート

第**19**号 2022  
Mar

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団  
木下博信政務活動事務所  
〒340-0017 草加市吉町 5-9-52  
TEL 048-924-8011 / FAX 048-922-9645

新型コロナ禍で  
**大幅増となった新年度予算**

- ・引きこもり支援条例制定
- ・児童相談所と警察の情報共有
- ・エスカレーター条例、制定から1年

埼玉県議会議員

**木下博信**

県政レポート

きのした

ひろのぶ

# 本会議での提案と新年度予算

今年も予算特別委員会の委員として、2兆2200億円の一般会計予算を中心に、県の新年度予算の審議を行いました。特別会計等も含め総額3兆6500億円にのぼります。県政全般にかかわる予算ですので、そのすべてを書くことはできませんが、12月の議会で提案、指摘したことが活かされている一例をお伝えいたします。

県庁のデジタル化、いわゆるDXの進め方についてです。

## 県庁のデジタル化を進める際の留意点

### 【12月の提案概要】

デジタル化というと、紙をなくせばいいと思われるがちです。ただそれは、デジタルの本質とは違います。

一番簡単なデジタル化は、申請と結果の通知に紙を使わないことです。デジタル



に対応できない方も考え、いきなり全部に紙を使わないのは難しいので、少しずつ変えていく必要があるからです。

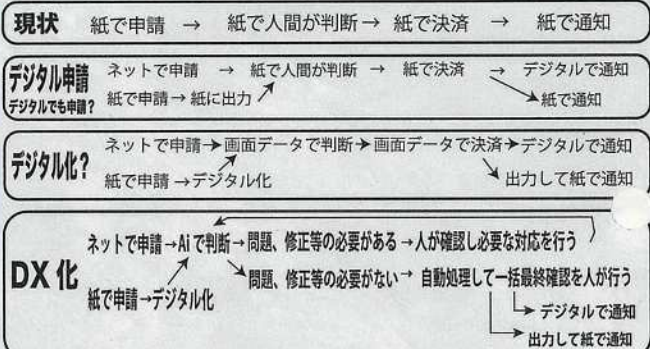
しかし、これでは、出入り口がペーパーレスになっただけで、中では変わらず紙に出して処理することになり、作業が効率よくなったとは言えません。

一歩前進して、紙の申請をスクリーンし、処理をデジタル内で行う方向に変えても、紙は減りますが処理過程は同じで、デジタル印鑑が並んでいくだけになってしまいます。こうした状態は望ましくありません。

DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略で、「デジタル技術が身近になることで、人々の生活がもっと便利に豊かになる」とを意味します。ただペーパーレスになればいいというのではなく、その本質から変えることが大事です。人が全て処理するのではなく、自動で処理するしくみを作ることを、考えなければなりません。

これが実現すれば、紙の申請を入力するだけで、デジタル申請と同じ処理が進められます。ゆくゆくは、

### DX化の目指すもの（留意点）



なデジタル化のイメージをはっきりさせることができました。また、内部事務の効率化も意識して取り組むことにより、令和4年度には4億4千万円の事業費支出節減を見込んでいるとの県からの説明もありました。

昨年末の12月定例議会の本会議では、県庁の仕事の仕方から草加市の基盤整備の課題まで、8項目について、新たな視点と施策の提案を私から行いました。DX以外の件も理解が広がり、新年度予算に反映されています。

## 新型コロナウイルス禍での 続く予算の拡大

- ・令和元年までの当初予算 約1兆9000億円
  - ・令和3度当初予算 2兆1200億円
  - ・16回の補正を重ねて最終予算は 2兆7150億円
  - ・新年度（令和4年）当初予算 2兆2300億円
- 事業者への協礼金、各種感染抑止対策、医療環境の強化充実、保健所機能の強化・分担委託、宿泊療養施設等々、令和3年度全体では、8000億円近く予算が増額しています。

## 引きこもり支援条例 ―作成、提案、成立―

令和3年2月から、自民党県議団でプロジェクトチームをつくり検討を重ねてきた「引きこもり支援条例」が、今回の定例議会において全会一致で可決成立しました。

自宅や自室に長期間閉じこもり他人や社会とのかかわりを回避している、いわゆる「ひきこもり状態」にある方は、内閣府の調査において15歳から39歳までで54万人、40歳から64歳までで61万人と推計されています。ひきこもりの状態にある方、そして家族は、自身の将来をはじめとする様々なことに不安を抱えていらつしやいます。

しかし、本人及び家族は、身近に支援を受けられる場所がなく、孤立しているケースが多くなっています。

この不安につけ込み、本人の意思を無視して強引に自宅や自室から引き出し、高額な費用を請求する「引き出し屋」と呼ばれる悪質業者も存在し、各地でトラブルも確認され始めました。

埼玉県民が悪質な引き出し屋の被害にあうことがあってはなりません。高額な金銭的負担はもちろん問題ですが、それ以前に、本人の意思を尊重せず強引に社会に引き出されてしまうこと、これは何があっても避けなければ

なりません。

しかし、安心して頼れる人や組織が、わかりやすく身近なところに存在せず、相談できない状況では、そうした悪質な事業者が介在する余地ができてしまいます。

その余地をなくし、本人の意思を何よりも重視することを指して「本人及び家族が孤立することのないよう、身近に安心して支援を受けられる環境を整備していくこと」を定める、引きこもり支援条例を提案しました。

私は、今回このプロジェクトチームの事務局長を務めており、1年をわたり、調査、検討、立案、調整と進め、2月24日に本会議で提案理由の説明を行い、3月27日の福祉保健医療委員会では7名の議員からの質疑に答弁をさせていただきました。そして政調会長はじめ県議団の皆さんのサポートがあったおかげで、結果として全会一致での可決成立に至ることができました。

この条例の成立で問題が解決するわけではありません。条例の定めに応じて、県が必要な予算を確保し、諸々の施策を実施していくことが必要です。この制定にかかわった責任者として、条例の求める環境が早期に実現するよう、引き続き取り組みていきます。

## 制定から1年、施行から半年

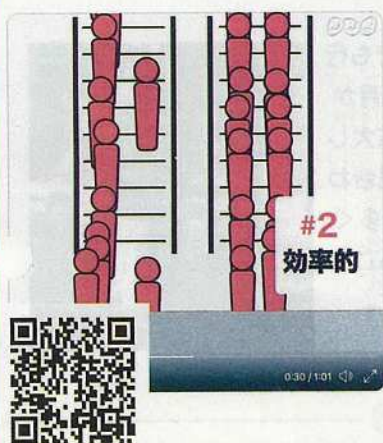
### エスカレーター条例

昨年3月に、自民党県議団が提案し、賛成多数で可決された、「エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例。

令和3年10月1日から施行されましたが、まだまだ周知がされていないため、3月8日の議会開会前の朝、浦和駅において、県議会と知事が一体となって広報活動を行いました。

その時間内での駅利用者には限られた人数でしたが、NHKはじめ報道機関に取り上げていただき、条例の存在、安全利用への貴重な活動となりました。

特に報道と同時に、立ち止まることの大切さを説明するためにNHKが作った動画が、とてもわかりやすかったので、ここにそのQRコードを掲載させていただきます。読み取れる方は、ぜひご覧になってみてください。



↑わかりやすいNHKのツイッター動画へのQRコード

## 少子高齢対策特別委員会 児童相談所と警察の情報共有

平成30年に予算特別委員会で私が求めたのは、警察と児童相談所の情報を全件共有する、という案件。

当時の福祉部はその実施に消極的でしたが、同年の予算特別委員会で、その必要性を何度も角度を変えて質問することで、実施に向けて動きははじめました。

この児童相談所と警察の情報共有の効果について、3月9日の少子高齢特別委員会で県の担当者は、「児相と警察が即時に全件の情報を共有するというのは、先進的な取り組みで、全国から視察に來ています。この仕組みのおかげで、現場に行った警察官に対する親の説明の虚偽を見抜き保護につながるなど、有効に機能しています」と、自信をもって説明していました。

副委員長を務めているため、直接審議の中で発言することはできませんでしたが、4年前の予算特別委員会のやりとりを思い出し、感慨深かったです。

そして、命と暮らしがまもられる埼玉であるよう、これからもできることを一つ一つ重ね、前進させていく決意を新たにいたしました。



## ネット懇談会を実施しました

1月30日、12時から22時まで、Zoomを活用して第1回ネット懇談会を開催しました。

草加に転居されて3か月という方から、何世代も草加にいらっしゃる方まで、予想以上に幅広く、多くの方にアクセスいただき、街の活性化、ケアラー支援、政治不信の理由など、駅端懇談会同様に多くのことに気づかせていただきました。

4月には第2回を開催いたします。パソコンだけでなく、スマホでも参加可能（実際1月も、スマホで出先から参加された方もいらっしゃいました）ですので、お気軽にのぞいてみてください。

駅端懇談会同様、その場に集まった数名であれこれ意見交換したり、個別の相談の場合はネット上の別室でお話することもできますので、開催告知をご覧になりましたら、気軽にお立ち寄りください。

## ネット懇談・始発終電等の お知らせはこちらから

始発終電駅端懇談もネット懇談会も、様々な日程の隙間で実施しているため、この県政報告で日程をお知らせするのが困難です。そのため、日程が確定次第ネット上でお知らせしております。ぜひアクセスしてください。

埼玉県議会議員 木下博信  
公式ホームページ



埼玉県議会議員 木下博信  
Facebook ページ



木下博信 Twitter



えきはた こんだん

## 始発終電駅端懇談 12月に草加駅で実施しました

昨年末の12月24日、草加駅東口で始発終電駅端懇談を行いました。

コロナ過で見合わせていましたが、感染がおさえこまれていたので実施しました。大変多くの皆様から、草加の課題、コロナ後の社会の在り方、県のとりくむべきこと、個人的相談など、幅広く様々なご意見を聞かせていただきました。

有意義な密度の濃い20時間でしたので、引き続き

1、2、3月と市内全駅でも行おうとしたのですが、1月からコロナの第6波が急拡大した状況により、実施を見合わせました。再開後、また多くの皆さんにお会いできることを楽しみにしております。



### 事務所への訪問・相談も歓迎です

政務活動事務所での相談も、させていただきます。

平日の10時から16時半までの時間帯になりますが、何かございましたら、お気軽にご相談ください。

私は、事務所に不在なことも多いので、事前にご連絡のうえ、お越しいただけると助かります。

埼玉県議会議員 **木下博信** 自由民主党議員団 政務活動事務所

〒340-0017 草加市吉町 5-9-52

Tel: 048-924-8011 Fax: 048-922-9645

e-mail h\_kino@icloud.com

### 木下博信 Profile



昭和39年(1964年)生まれ。氷川幼稚園、高砂小、瀬崎中、春日部高を経て、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。

平成5年(1993年)草加市議会議員初当選。

以後、市議を8年、市長を9年勤め、平成27年(2015年)4

月より県議会議員。

2001年パリダカールラリーを二輪で完走。

2018年アイアンマン(226kmトライアスロン)完走。

知っとく、なっとく  
**埼玉県政**

埼玉県議会議員 **木下博信**が、  
県政を身近にわかりやすくお伝えする県政レポート

第**20**号 2022  
Dec

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団  
木下博信政務活動事務所  
〒340-0017 草加市吉町 5-9-52  
TEL 048-924-8011 / FAX 048-922-9645

# 県庁は浦和にあり続けるべきなのか？

- ・ 経済変動（燃料高・円安等）への  
大型補正予算
- ・ ネットカフェ立てこもり事件の  
再発防止へ条例を改正

埼玉県議会議員

# 木下博信

県政レポート

きのした

ひろのぶ

# 県庁は、ずっと浦和なの？

令和4年6月定例議会で、本会議での一般質問（知事や部長局長への提案等の発言）の機会をいただきました。※

7項目を取り上げましたが、その中で、県庁はこれからも浦和にあり続けるべきなのか、と問題提起しました。

## 6月定例議会 本会議で提案

今年埼玉県は150年を迎えました。それを受け、知事は、「150年後の埼玉を見据えて」予算を編成したと発言しました。

その時感じたのが、埼玉県は150年後も、つまり300年間、同じ状況なのか、という疑問です。

この先150年を考えたら、県の範囲が変わったり、合併していたりする可能性もあります。そこまでの予想はできないにしても、**これまで150年間浦和にあった県庁が、この先150年も浦和にあり続けるべきかどうか**、というのは検討する余地があります。

浦和は、県庁所在地であることで、都市として発展して来ました。15



0年間、そのメリットを享受してきたのであれば、次の150年は他の土地に移転して、その地域の新たな発展を期することも考えられます。

ちょうど今、老朽化した県庁舎の建て替えが議論されています。そしてなぜか、現在地での建て替えが前提のように検討されています。

埼玉150年、次の150年、老朽化した県庁舎の建て替えが出そろった今、他の土地に移転すること、視野に入れて検討すべきではないでしょうか。今の浦和の（地価の高い）**広大な敷地を民間に売却して**

移転すれば、新庁舎の建設に県民の貴重な税を注ぎ込むことなく、そのまま建て直せるでしょう。

仮移転して、壊して、建てて、仮庁舎から戻ってきて、という時間とコストと混乱も、最低限で済みます。どこに移転するか、は次の課題として、まずは浦和から他の地域に移転する可能性についても検討することが、まさに今必要だと考えます。知事には、この件を検討していただくよう求めました。

知事は、まずはデジタル化や働き方の変化も踏まえ、どういう庁舎機能にするかを考えたいとのことでしたが、移転はあり得ない、という否定もされませんでした。

**県民へのサービスに直結しない庁舎建設。そこに税を注ぎ込むことを避け、県をバランス良く発展させていくため**、来年中にはこの議論を明確にし、結論を出せるよう取り組んでいきます。

## 教職員の充実も

また6月定例議会では、小中学校の教員などの職員を、県費でさらに充実させることも求めました。

**教員が生徒に向き合う時間をより多く確保するために、支援員（スクール・サポート・スタッフ）を採用していますが**、国からの予算の範囲で対応しているため、十分な配置、待遇となっていない。国の予算に県

の予算も加え、より充実させることを求めました。

また、小学校で臨時任用の教員が担任になったり、年度途中で担任交代したりする事態を解消するため、**県独自で教員を確保する必要があることも指摘しました。**

知事は、そうした対応が可能になるよう国に求める、との答えでした。国が対応するのであれば、大歓迎です。しかし、国が動くまでの間、県が先行して為すべきことを為すのも、地方自治体として重要なことです。

国に求めつつ、必要なことに対応する埼玉県であるよう、引き続き知事の対応を求めていきます。

## その他の提案

そのほか、安心して暮らせる埼玉にしたいために、以下の各項目について、議論、提案をしました。

- **性能発注方式の導入拡大**
- **障害者の文化芸術鑑賞機会の充実**
- **引きこもり支援**
- **自転車と横断歩道のルールについての啓発**
- **都市計画道路路草加三郷線の整備促進**

来年度予算に反映可能なもの、さらに継続して働きかけが必要なものなど様々ですが、これからも皆さんの声を活かし、提案、実現に向けての取り組みを続けていきます。

※埼玉県議会では、本会議での一般質問の機会を会派毎に割り当てられ、概ね年に1回ほどの発言機会となっています。



## 燃料高、円安等の激変に対応し 現在一四二〇億円に到達

この春から急速に進んだ原油高、円安、それに伴う燃料や光熱費の高騰。こうした事態に重大な影響を受ける県民や事業者を支援するために、6月議会から連続して補正予算を編成し、対策がとられています。完全とは言えませんが、皆さんの声を届け、一つ一つ実行に移してきたものです。

### 6月、9月、12月での補正増額の主な事業

公共交通燃料高騰対策	4億3000万円
学校給食費等保護者等負担軽減事業費	4000万円
中小企業等省エネルギー対策支援事業費	3億8000万円
生活困窮者自立支援事業	4000万円
夏休み期間中の子供の食を確保する緊急支援事業	8100万円
一般公衆浴場原油高騰対策補助	600万円
県内観光関連事業者への支援	2億9000万円
中小企業制度融資事業費	9600万円
省工型施設園芸産地育成緊急対策事業	4億3000万円
水田小麦等産地生産性向上事業	5700万円
配合飼料価格高騰緊急対策事業	1億3000万円
学校給食費等保護者等負担軽減事業	5300万円
私立学校運営費光熱費高騰分補助	1億6300万円
生活福祉資金貸付促進	13億5000万円
生活困窮者自立支援事業費	2500万円
障害者施設等光熱費等高騰対策支援事業	2億3500万円
放課後児童クラブ物価高騰対策給付事業	1500万円
保育所等物価高騰対策給付事業	1億2000万円
児童養護施設等物価高騰対策支援事業	1600万円
運輸事業振興助成費	35億3500万円
彩の国観光振興推進費	6億5500万円
粗飼料高騰緊急対策事業	9140万円
採卵鶏農家経営安定緊急対策事業	9億9700万円
中小企業等省エネルギー対策支援事業費	10億3100万円
歯科診療所光熱費高騰対策支援事業費	1億9800万円
地域医療教育センター運営費	1300万円
病院等光熱費等 高騰対策支援事業費	34億6400万円
薬局光熱費 高騰対策支援事業費	1億7400万円

※県庁組織内での維持管理経費増額分を除く対県民の総額

## ネットカフェ立て籠もり事件の再発防止へ 防犯の街づくり条例を改正

埼玉県内で、ネットカフェの個室に立てこもり、従業員の方が被害を受ける事件が相次ぎました。

こうした事件が二度と起きないように、自民党県議団内に再発防止策を検討するプロジェクトチームを編成し、議論を重ねてきました。そして、埼玉県防犯の街づくり条例を改正することにしました。

「犯罪の防止に配慮した店舗等の整備」に努めるよう求める対象に、個室のあるネットカフェや漫画喫茶を追加。さらに防犯に関する責任者の設置と従業員への防犯指導などを求める内容へ改正しました。

この条例制定を受け、県は事業者への対策指針を定めるため、指針案への意見を求めています。(1月4日まで県のHPで受付)

その意見も踏まえ、新たな指針を定め、事業者に対応を求めることで、立てこもりによる被害が発生しない環境を実現していきます。



↑外部から解錠可能(立てこもり不可能)な電子ロックを採用した事業者の例。内部から、かんぬき等で封鎖することも不可能な形状。

## 自民県議団で求めていた 県の収入証紙が廃止へ

県への行政手続きに対する手数料は、ほとんどが収入証紙を買って貼ることで収める形になっています。多くの人が関わる免許証の更新手数料、県立高校の入学試験の手数料をはじめ、様々な許認可の行政手続きをする際に、収入証紙を貼る必要があるのです。

役所の窓口で現金を取り扱う手数料を減らして、金銭出納業務を効率化するために採用された「証紙」という仕組みですが、あくまで役所の都合を優先したものです。デジタル化が進み、キャッシュレス決済が普及する令和の時代においては、あまり現実的ではなく、まさに昭和の名残、と言えるでしょう。

その不便さを解消するために、かねてから自民県議団で証紙の廃止を求めてきましたが、12月議会で証紙廃止条例として実現しました。

廃止されるのは令和6年1月1日。経過措置として、同年3月31日までは証紙も使用可能です。また、業務用などで既に購入しているものの選付も令和10年末まで出来ます。

キャッシュレスでの決済手段を持たない方が不自由しない対策も、免許センターはじめ各所にとられますので、ご安心ください。



## まちなか懇談会を開催しました

11月19日(土) 谷塚西部地区(新里)でまちなか懇談会を行いました。

これまでは、市内各地で県政報告懇談会を行っていましたが、コロナ禍により開催を見合わせていました。何度か再開を試みましたが、やはり閉鎖空間に人が集うことに不安を感じられる方が多く、with コロナの対応として「まちなか懇談会」の形式で開催していくことにしました。

県政報告懇談会でも質疑応答の時間はありますが、「こうやって1対1で、すわって直接意見交換できるほうが楽しいね」など、少し寒い中でしたが、多くの方にお立ち寄りいただき、駅前とは違う地域課題など貴重なお話を伺うことができました。



県政報告懇談会でも質疑応答の時間はありますが、「こうやって1対1で、すわって直接意見交換できるほうが楽しいね」など、少し寒い中でしたが、多くの方にお立ち寄りいただき、駅前とは違う地域課題など貴重なお話を伺うことができました。

## えきはた こんだん 始発終電 駅端懇談 継続しています！

6月に獨協前、11月に新田、谷塚で行いました。

コロナ禍で活動を見合わせていましたが、感染状況を踏まえながら、6月に獨協大学前、11月に新田駅、谷塚駅で、始発終電駅端懇談を行いました。



各駅とも久しぶりの駅端懇談でしたが、

次回 **草加駅**は12月**27日(火)**です。

雨天等の場合 28日(水)

これまで同様、多くの皆様から、さまざまなお話を聞かせていただくことができました。

意見・提案、苦言、現場の問題課題、相談。それぞれ均等に、幅広く貴重なお話を聞かせていただきました。

会話の途切れない時間帯もありますが、姿を見かけたら遠慮なくお声がけください。

## 事務所への訪問・相談も歓迎です

政務活動事務所での相談も、させていただきます。平日の10時から16時半までの時間帯になりますが、何かございましたら、お気軽にご相談ください。

私は、事務所に不在なことも多いので、事前にご連絡のうえ、お越しいただけると助かります。

埼玉県議会議員 **木下博信** 自由民主党議員団 政務活動事務所

〒340-0017 草加市吉町 5-9-52

Tel: 048-924-8011 Fax: 048-922-9645

e-mail h\_kino@icloud.com

## 木下博信 Profile



昭和39年(1964年)生まれ。氷川幼稚園、高砂小、瀬崎中、春日部高を経て、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。平成5年(1993年)草加市議会議員初当選。

以後、市議を8年、市長を9年勤め、平成27年(2015年)4

月より県議会議員。

2001年パリダカールラリーを二輪で完走。

2013年ゴビデザートマラソン(200km)完走。

2018年アイアンマン(226kmトライアスロン)完走。

## ネット懇談・始発終電等の お知らせはこちらから

埼玉県議会議員 木下博信  
公式 LINE ページ



埼玉県議会議員 木下博信  
Facebook ページ



木下博信  
Twitter



# 知っとく、なっとく 埼玉県政

埼玉県議会議員 木下博信が、  
県政を身近にわかりやすくお伝えする県政レポート

第21号 Feb 2023

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団  
木下博信政務活動事務所  
〒340-0017 草加市吉町 5-9-52  
TEL 048-924-8011 / FAX 048-922-9645

## 議会の役割って何だろう？

自由民主党議員団の取り組み

埼玉県議会議員

# 木下博信

県政レポート

きのした

ひろのぶ





プロジェクトチームでの条例案の検討

- ・**受動喫煙防止条例**（国基準よりも踏み込み、店舗で働く方々への対応を明記）
- ・**迷惑行為防止条例の一部を改正する条例**（盗撮などを規制する条文が、現状の多様な盗撮の状態に対応できなくなってきたため、現状を踏まえて明確に規定する改正）
- ・**エスケーター等の安全な利用の促進に関する条例**（全国初。右側に立たざるを得ない方々が安全に利用できるようにするため、立ち止まっただけの利用定着を目指して制定）
- ・**動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例**（動物取扱事業者への責務を新設、県が譲渡に関わる動物の明記など、6項目を追加新設）
- ・**ひきこもり支援に関する条例**（全

- ・**国初**。制定から1年、始まったばかりですが、県が周知する支援団体が増え、安心して相談・支援を受けられる埼玉県へ、着実に前進しています）
- ・**性の多様性を尊重した社会づくり条例**（LGBTQをはじめ、多様な性が尊重され、安心して暮らせる埼玉県を目指して制定）
- ・**部落差別の解消の推進に関する条例**（インターネット上での不適切な情報の拡散や情報提供を根絶し、差別のない社会を実現するための制定）
- ・**防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例**（ネットカフェでの立てこもり事件が相次いだことを受け、再発させないため、事業者への個室空間への安全対策指針を定め、対応を求める改正）

### 議会改革への取り組み

議会がより円滑に運営されるよう、さまざまな改革も行っています。

○本会議の質問方式の変更

議員が一方的に30分間質問し、知事はじめ部長の答弁が入り替わり立ち替わり30分続いていた本会議での質問方式。傍聴（視聴）している県民の皆さんには、非常にわかりにくいものとなっていました。

それだけでなく、答弁の問題点を指

摘し、議論を進めていくことを難しくしてしまいう面もありました。

その課題を解決すべく、本会議での質問形式を一問一答形式と言われる形に変更しました。

国会の本会議代表質疑のような形態しか許されなかった県議会本会議において、国会の委員会審議のようにならぬ質問を掘り下げていくことも可能な形式になったのです。

○政務活動費のネット公開

関西の県議の号泣会見で、世間に広く知られることになった政務活動費。その用途が適正かどうか、県庁に来るまでもなく、誰もが確認しやすいようにネットで公開するように改めました。

○ペーパーレスによる効率化

令和4年から、全面的なペーパーレスの実施に至りました。これまで郵送されていた議会招集の文書に始まり、議案書、説明文書などが全ての電子化です。しかし、いまだに、公費で購入した議会専用のパソコンでしか、会議中に使えない仕組みです。各自が既に何らかの端末を利用して現在の現状にそぐわないだけでなく、その購入費用も余計な負担となってしまうのです。

今後は、その見直し（支給の廃止）も必要です。

### 自民党県議団の取り組みの背景

**困っている人のために不都合をなくす**  
それがソーシャル・インクルージョンです

ソーシャル・インクルージョンという言葉は聞いたことがあるでしょうか。まだまだなじみの少ない言葉かもしれませんが、自由民主党県議団で議論し、提案、制定した。前述の条例の背景にある考え方は、ソーシャル・インクルージョン（社会的包容）です。困っている県民がいるなら、同じような立場の多くの方々の不都合が解消されるよう、新たな制度を作り上げていくこと。それが**政治の責任**。

この考え方に基づき、県民から指摘された課題、自ら問題があると認識した課題について、自民県議団内にプロジェクトチームを作り、政調会と連携して議論を重ね、提案してきています。

結果として、**ほとんどの条例は議会において全会一致で可決成立し**、条例の理念に基づいた県の施策実施に結びついています。

前例に縛られて時代錯誤の慣習を継続することなく、県民が安心して暮らせる社会にするため、法で定められた本来の議会の責務を果たし続け、見直し続けていく。

こうした理念で、県議団幹事長を中心に行動し続け、当たり前のことが当たり前に実現できる議会への変化してきています。

この流れが、まもなく開会し令和5年度予算を審議する2月定例議会へ、そしてその先の議会へ受け継がれていくよう全力を尽くします。

## 2月中旬から3月下旬まで、定例議会が開会されます

令和5年度予算を中心に審議する2月定例議会が、まもなく始まります。もちろん新年度予算以外にも、今年度の補正予算ほか多くの議案が審議されますが、新年度の予算は特に重要です。

そのため、新年度予算は予算特別委員会を設置して、集中して審議することになります。私は、一昨年、昨年に引き続き、今回も予算特別

委員会委員に選任されました。

その役割の重要性を認識し、3月下旬まで続く定例議会でも、環境農林委員長としての、予算特別委員会委員としての職務を果たしていきます。

2月 定例会 会期予定

日次	月	日	定例会
第1回	2月	16日(水)	開会式、議案審議
第2回	2月	23日(水)	議案審議
第3回	2月	27日(日)	議案審議
第4回	2月	28日(月)	議案審議
第5回	2月	29日(火)	議案審議
第6回	2月	30日(水)	議案審議
第7回	2月	31日(木)	議案審議
第8回	3月	1日(金)	議案審議
第9回	3月	2日(土)	議案審議
第10回	3月	3日(日)	議案審議
第11回	3月	4日(月)	議案審議
第12回	3月	5日(火)	議案審議
第13回	3月	6日(水)	議案審議
第14回	3月	7日(木)	議案審議
第15回	3月	8日(金)	議案審議
第16回	3月	9日(土)	議案審議
第17回	3月	10日(日)	議案審議
第18回	3月	11日(月)	議案審議
第19回	3月	12日(火)	議案審議
第20回	3月	13日(水)	議案審議
第21回	3月	14日(木)	議案審議
第22回	3月	15日(金)	議案審議
第23回	3月	16日(土)	議案審議
第24回	3月	17日(日)	議案審議
第25回	3月	18日(月)	議案審議
第26回	3月	19日(火)	議案審議
第27回	3月	20日(水)	議案審議
第28回	3月	21日(木)	議案審議
第29回	3月	22日(金)	議案審議
第30回	3月	23日(土)	議案審議
第31回	3月	24日(日)	議案審議
第32回	3月	25日(月)	議案審議
第33回	3月	26日(火)	議案審議
第34回	3月	27日(水)	議案審議
第35回	3月	28日(木)	議案審議
第36回	3月	29日(金)	議案審議
第37回	3月	30日(土)	議案審議
第38回	3月	31日(日)	議案審議

令昨年の2月定例議会の会期日程

## 始発終電 駅端懇談 次回 は2月 15日 (水) ・ 谷塚駅

12月に草加、1月に獨協前、2月1日に新田、にうかがいました。

みなさんからの、意見・提案・相談・要望・苦言などなど、何でも聞かせていただく始発終電駅端懇談。



12月に草加駅で、1月に獨協大学前駅で、2月1日に新田駅で行いました。

有難いことに、どの駅でも多くの方々からお話を聞かせていただきました。どなたもいらっしゃらない時間は、20時間中2時間ほど。ですので、体力的には厳しいものの、時間的にはあっという間に過ぎ去っていったという感覚でした。

次回の谷塚駅でも、また多くの方から聞かせていただけることを、楽しみにしています。

### 事務所への訪問・相談も歓迎です

政務活動事務所での相談も、させていただきます。平日の10時から16時半までの時間帯になりますが、何かございましたら、お気軽にご相談ください。

私は、事務所に不在なことも多いので、事前にご連絡のうえ、お越しいただけると助かります。

埼玉県議会議員 **木下博信** 自由民主党議員団 政務活動事務所

〒340-0017 草加市吉町 5-9-52  
Tel: 048-924-8011 Fax: 048-922-9645  
e-mail h\_kino@icloud.com

### 木下博信 Profile



昭和39年(1964年)生まれ。氷川幼稚園、高砂小、瀬崎中、春日部高を経て、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。平成5年(1993年)草加市議会議員初当選。

以後、市議を8年、市長を9年勤め、平成27年(2015年)4

月より県議会議員。

2001年パリダカールラリーを二輪で完走。

2013年ゴビデザートマラソン(200km)完走。

2018年アイアンマン(226kmトライアスロン)完走。

## 始発終電等の お知らせはこちらから

埼玉県議会議員 木下博信  
公式 LINE ページ



埼玉県議会議員 木下博信  
FaceBook ページ



木下博信  
Twitter



知っとく、なっとく  
**埼玉県政**

第**22**号 2023  
Mar

埼玉県議会議員 **木下博信**が、  
県政を身近にわかりやすくお伝えする県政レポート

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団  
木下博信政務活動事務所  
〒340-0017 草加市吉町 5-9-52  
TEL 048-924-8011 / FAX 048-922-9645

**これからも聴き続けます！**

誰もが安心して暮らせる草加・埼玉へ

埼玉県議会議員

**木下博信**

県政レポート

きのした

ひろのぶ

# —今年度も予算特別委員会委員として審議— 新年度予算は2兆2111億円

令和2年の当初予算は、1兆9600億円でした。その予算規模に、コロナ対応の医療福祉関係事業、生活・経済対策事業が多数盛り込まれ続けていることよって、令和5年の当初予算は2兆2111億円にまで膨れ上がってきました。

現在、2月定例議会で審議をしている最中ですが、新年度予算での新たな取り組みの一部をお伝えさせていただきます。

## 学校現場を支える予算

### ・教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）の拡充

公立小中学校の現場は、社会的要請から多くの仕事が集申し、ブラックワークと新卒者に敬遠されています。

この状態では、先生が落ち着いて子供達に向き合う時間が少なくなり、児童生徒にとって好ましいものではありません。

私は、昨年の予算特別委員会、本会議での質疑などを通して、その改善を求めてきました。その指摘が活かされ、現場の改善を進める予算が提案されました。

より良い教育環境の実現に向け、これからも、教育業務支援員の方の給与の改善、勤務時間数の増加、学校規模による増員など、働きかけを続けていきます。

### ・不登校支援特別校設置へ着手

これまで埼玉県内では、不登校の場合の選択肢が民間のフリースクールなどしかありませんでした。無料ではないため、家庭への経済的負担は大きく、公立での開設を求めてきた結果、戸田市において不登校支援教室が開設され、多様な教育機会確保への一歩を踏み出すことになりました。今後、その成果を活かし、草加市内での開設を目指していきます。

## 県庁のデジタル化

これまでも県庁内で、ペーパーレスを中心にデジタル化が進められてきました。

私は、本会議や各委員会の中で、「単なるペーパーレスではなく、県民・利用者との視点を重視すること」や、「紙とデジタルの二重処理で無駄に事務負担の増えない仕組みづくり」を求めてきました。

その視点が生かされた形で、令和5年度、単なるペーパーレスの段階から、

いろいろな申請を本格的にデジタル化するための予算、約1億円が計上されました。

実際に申請をデジタル化していく際に、役所の中で負担が増加する矛盾が生じないように、引き続きこの予算の執行を注視していきます。

## ホームドアの設置

### ・草加駅、新田駅、谷塚駅へのホームドア設置

令和5年度で、県内の4駅で整備完了が予定されています。その4駅に、草加、新田、谷塚が含まれています。

令和3年度に予算化されたものの、コロナ禍等での資材不足により、獨協大学前駅のみ完了して、他駅は延期されていましたが、この予算を使って、令和5年度中に整備が完了します。



既に土台部分は工事が進んでいる新田駅、谷塚駅



整備が完了した獨協大学前

## 鉄道交通網の整備へ

### ・県内公共交通の充実に向けた鉄道の延伸の調査検討

県内全域で、東京からの鉄道延長整備を目指した「あと数マイルプロジェクト」。草加市北東部を通る地下鉄8号線の整備促進に加え、日暮里舎

人ライナーの延長の調査検討も含まれています。日暮里舎人ライナーは、左図のように3方向が対象となっており、草加に向かう選択も存在しています。



## 課題の県道整備

### ・草加三郷線の柳島工区、瀬崎工区が前進

長年の懸案となっていた、草加三郷線の2箇所工区。柳島工区は、既に工事が始まり、交差点の形状が変化し始めていますが、水路工事を終えて道路部分の形がで始めます。





そして東武線と県道足立越谷線の間も、南側部分の工事が始まります。

**①道路拡幅工事**  
道路を4車線へと拡幅する工事を行います。※暫定整備形態では、2車線での供用開始となります。  
→道路を拡幅することにより、**渋滞の緩和**へとつながります。

**②水路改修工事**  
既設水路（普通河川河内堀川）をボックス化し、地中へ埋設する工事を行います。  
→水路を地中へ埋設することにより、**道路を拡幅**することができます。

どちらも長年の課題となっていた場所ですが、完成の姿が見え始めています。

こうした拡幅などの全面的整備のみならず、

- ・**金明での足立越谷線の舗装補修**
  - ・**弁天での草加流山線の舗装補修**
- をはじめ、多くの市内道路の安全確保工事が予算化されています。

## 水害を防ぐ河川整備

草加市は、昭和40年代の都市化の進行に伴い、度重なる水害に悩まされてきました。国・県・市が連携しての大規模な水害対策工事（外郭放水路、排水騎場、貯留施設等々）を進めて来たことで、最近では市内各地が大規模に浸水する事態は発生していません。

しかし、それは降雨状況に恵まれた面もあり、決して以前のような水害が発生しなくなっ

たわけではなりません。そのため、令和5年度

も、**古綾瀬川、伝右川などで7箇所**の河川整備の工事が予算化されています。



## 慎重に審議を進めます

ここに紹介した予算は、全体のごく一部です。子育て、高齢者福祉、医療介護、経済活性化など、草加だけでなく県民全体の暮らしに影響する、多くの施策があります。

その施策が、よりよく県民の皆さんのためものとなるよう、議員の責務として審議をしていきます。



## 自由民主党県議団が進める議会改革

### 当たり前前のごことを当たり前前に そしてその先へ

自由民主党県議団が取り組んでいる様々な議会改革。「何を目指しているの？」という問いかけをいただくことがあります。もちろん、よりよい県庁にするため、安心して暮らすことのできる埼玉県にしていきたいからです。

そして、そういう県庁・埼玉県にするためには、議会や政治を変えていかねければなりません。だから自由民主党県議団は、変化を続けています。

「どういう状態が理想なの？」と聞かれる場合もあります。私は、「当たり前のごことが当たり前前にできていることだと思います」とお答えしています。

- ・ 政務活動費が規定に沿って正しく使われているのは、**当たり前**
  - ・ 居眠りしないで審議に集中しているのは、**当たり前**
  - ・ 議員の条例提案制定の権利（義務）を使うのは、**当たり前**
  - ・ 特定の一部の支持者だけでなく広く意見を聞くのは、**当たり前**
  - ・ 選挙で公約したことの実現のために行動し続けることは、**当たり前**
  - ・ 役職に就いて終わりではなく役割を果たすことが大切なのは、**当たり前**
  - ・ 役所の都合ではなく県民の都合に合わせて仕事をすることは、**当たり前**
  - ・ 予算は県民から預かっているお金なのだから無駄なく使うのは、**当たり前**
- まだまだありますが、こういう「当たり前前のごことが、当たり前前にできていない」と、有権者に思われているから、政治不信、政治家不信、投票率低下、という状態が生まれているのだと感じます。
- その不信の状態は、民主主義にとって危機的な状態です。そこから脱するために、当たり前前のごことを当たり前前に、**そして提案されたものに対応するだけの受身の議会ではなく、能動的に動き、新たなものを生み出せる議会へ**、私たちは変化を続けていきます。

## 誰もが安心して暮らせる草加・埼玉へ

自由民主党県議団の仲間と共に  
進めていく今後の課題。

### ○安心してすごせる

県の仕事は生活、暮らしの基盤をすることです。  
ハード（道路、河川、下水）ソフト（福祉、社会制度）の両面での取り組みの推進、  
その土台を確かなものとして、安心して暮らせる草加を実現します。

### ○安心して暮らせる

在宅医療も含め総合的な医療環境を整備。  
介護、障がい、ケアラー、引きこもり等総合的相談支援体制を確立。  
草加警察の体制を増強。  
治水対策のさらなる推進。

### ○安心して学べる

教職員を充実させ、市教委の自主性を高め、  
時代に沿った公立小中学校へ。  
不登校支援特例校、フリースクールを設置。  
都内私立校に進学しても、修学支援金を受け取ることを可能に。

### ○快適に暮らせる

新田東西口・谷塚西口の街づくりを促進。  
県道の整備、交差点の安全対策をさらに充実させる。  
商工業の転換、発展支援を強化。  
都市農業のサポートと6次産業化の支援策の増加。

## 実現のためには、議会と役所の改革も必須！

具体的な施策の実現に向けては、  
議会の活性化と県行政の仕事の見直しが必要と見ます。

### ○議会のさらなる機能強化

・議会機能の強化を促進  
課題の発掘、指摘だけでなく、解決方法も含めた提案能力の向上。  
県に条例制定を求めるのではなく、必要な条例を自ら検討し制定。  
執行の無駄を検証していく決算審査機能を強化。  
本会議のみならず、委員会審査の充実。

### ○県の支出の均衡化

草加市をはじめとした、埼玉県東南部地域の暮らしを支えるための予算確保。  
都市特性を踏まえ、総合的に県支出が均衡しているかどうかを評価する手法を確立します。

### ○県と市の役割分担を明確化

県と市の二重行政を整理し、支出の無駄を削減、市町村の自主性を向上。

## 事務所への訪問・相談も歓迎です

政務活動事務所での相談も、させていただきます。  
平日の10時から16時半までの時間帯になりますが、何かございましたら、お気軽にご相談ください。

私は、事務所に不在なことも多いので、事前にご連絡のうえ、お越しいただけると助かります。

埼玉県議会議員 **木下博信** 自由民主党議員団  
政務活動事務所

〒340-0017 草加市吉町 5-9-52  
Tel: 048-924-8011 Fax: 048-922-9645  
e-mail h\_kino@icloud.com

### 木下博信 Profile



昭和39年(1964年)生まれ。  
氷川幼稚園、高砂小、瀬崎中、  
春日部高を経て、慶応義塾大学  
法学部政治学科卒業。

平成5年(1993年)草加市議会議員初当選。

以後、市議を8年、市長を9年勤め、平成27年(2015年)4

月より県議会議員。

2001年パリダカールラリーを二輪で完走。

2013年ゴビデザートマラソン(200km)完走。

2018年アイアンマン(226kmトライアスロン)完走。